

(報道資料)

**「昭和レトロ」な雰囲気と現代風の新しさを兼ね備えた
アナログクッキングスケール2モデルを7月1日に発売
キッチンを彩る人気の“くすみカラー”を本体カラーに採用**

2024年6月27日
株式会社タニタ



**「昭和レトロ」な雰囲気 of フォームにキッチンを彩る “くすみカラー” を採用
アナログクッキングスケール「KA-441」(左)「KA-442」**

健康総合企業の株式会社タニタ（東京都板橋区前野町1-14-2、社長・谷田千里）は、「昭和レトロ」な雰囲気 of フォームに、近年人気の “くすみカラー” を本体カラーに採用するなど、懐かしさと新しさを兼ね備えたアナログクッキングスケール2モデルを7月1日に発売します。今回発売するモデルは、「KA-441」（最大計量1kg、最小表示5g）と「KA-442」（最大計量2kg、最小表示10g）で、本体カラーはキッチンの雰囲気に合わせて選べるよう、いずれも5種類（ホワイト、ダークグレー、チェリーレッド、コーラルピンク、セージグリーン）をラインアップ。価格はオープンで、30-60代の生活空間づくりにこだわりがある層をメインターゲットに、ホームセンターや総合スーパー（GMS）、家電量販店などを中心に2モデル合計で初年度6万台の販売を計画しています。

近年、昭和の古き良きアナログ感のあるモノやコトが「昭和レトロ」として、幅広い世代で注目されています。特に、家電・キッチン用品の分野では、見た目はレトロでも機能や品質にこだわった商品が人気となっています。今回発売するモデルは、1994年の発売以来、30年にわたってロングセラー商品となっているアナログクッキングスケール「1439」の後継機種。「昭和レトロ」な雰囲気 of フォームはそのままに、キッチンでのカラーコーディネート of トレンドを意識し、カラーリングにこだわりました。

具体的には、本体カラーには調理家電で人気の高い“くすみカラー”を採用。落ち着いたやわらかな色合いで、上品な雰囲気演出してキッチンになじむのが特徴です。カラーバリエーションは、調理家電のトレンドカラーに合わせて5種類をラインアップ。別売りのデジタルタイマー「抗菌でか見えタイマーTD-429」と同じ本体カラーにすることで、コーディネートをしやすくしています。また、目盛板のカラーには、「KA-441」は清潔感のあるホワイトを、「KA-442」は高級感のあるブラックを採用しました。このほか、目盛板の目盛数字のフォントを見やすくしたほか、受け皿を取り外して汚れなどをふき取りやすい仕様とすることで簡単にお手入れができるなど、使い勝手にもこだわりました。

タニタは2024年1月に設立80周年を迎え、これまでに多くの「はかる」商品を世に送り出してきました。クッキングスケールは1965年以降、およそ60年にわたり製造販売を続けている主力商品の一つで、デジタル式に計量技術がシフトする中でもアナログ式は、「暮らしに温かみ」を醸し出してくれるなどで根強い人気となっています。このことから、機能やデザインをアップグレードしながら長く愛用される商品の提供を続けてきました。これからもタニタでは、精度や使い勝手、デザイン性など、さまざまな面において生活者目線で工夫を続けていく考えです。

【商品概要】

アナログクッキングスケール「KA-441」

最大計量 1kg

最小表示 5g

サイズ 約幅165mm×高さ170mm×奥行165mm、受皿165mm

重さ 約450g

アナログクッキングスケール「KA-442」

最大計量 2kg

最小表示 10g

サイズ 約幅165mm×高さ170mm×奥行165mm、受皿165mm

重さ 約450g



調理家電のトレンドカラーに合わせた5種類の“くすみカラー”をラインアップ
(バリエーションカラーは、上段左より、ホワイト、ダークグレー、
下段左より、チェリーレッド、コーラルピンク、セージグリーン ※画像は「KA-442」)



アナログクッキングスケール「KA-442」と
抗菌でか見えタイマー「TD-429」によるコーディネートイメージ

お客様からのお問い合わせ先

株式会社タニタ お客様サービス相談室
ナビダイヤル：0570-099655
受付時間：平日9:00-18:00

本資料に記載されている情報は発表日現在のものです。このため、時間の経過あるいは後発的なさまざまな事象によって、内容が予告なしに変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。